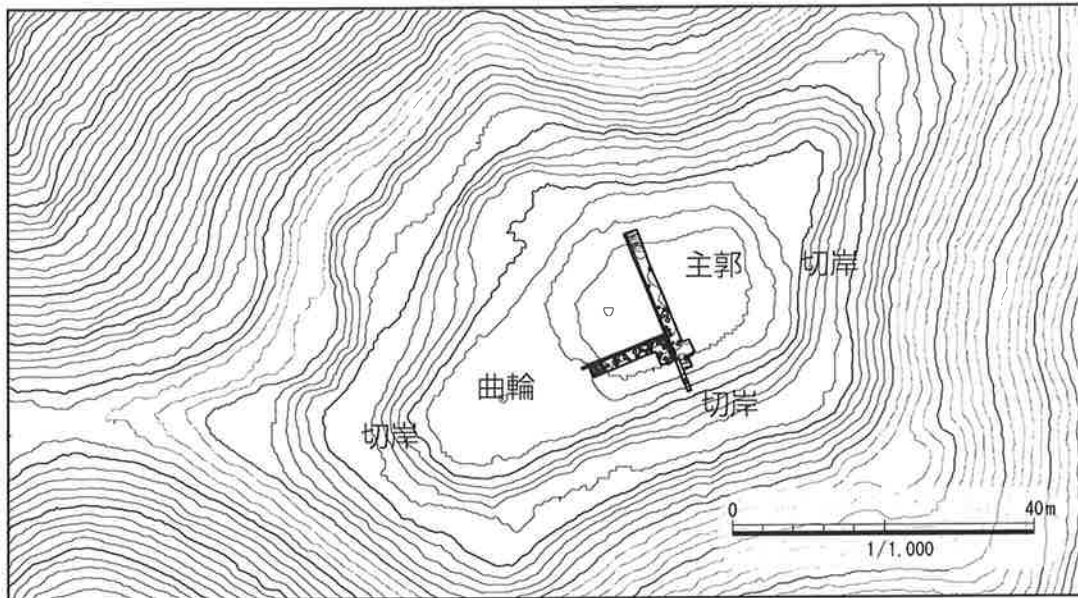
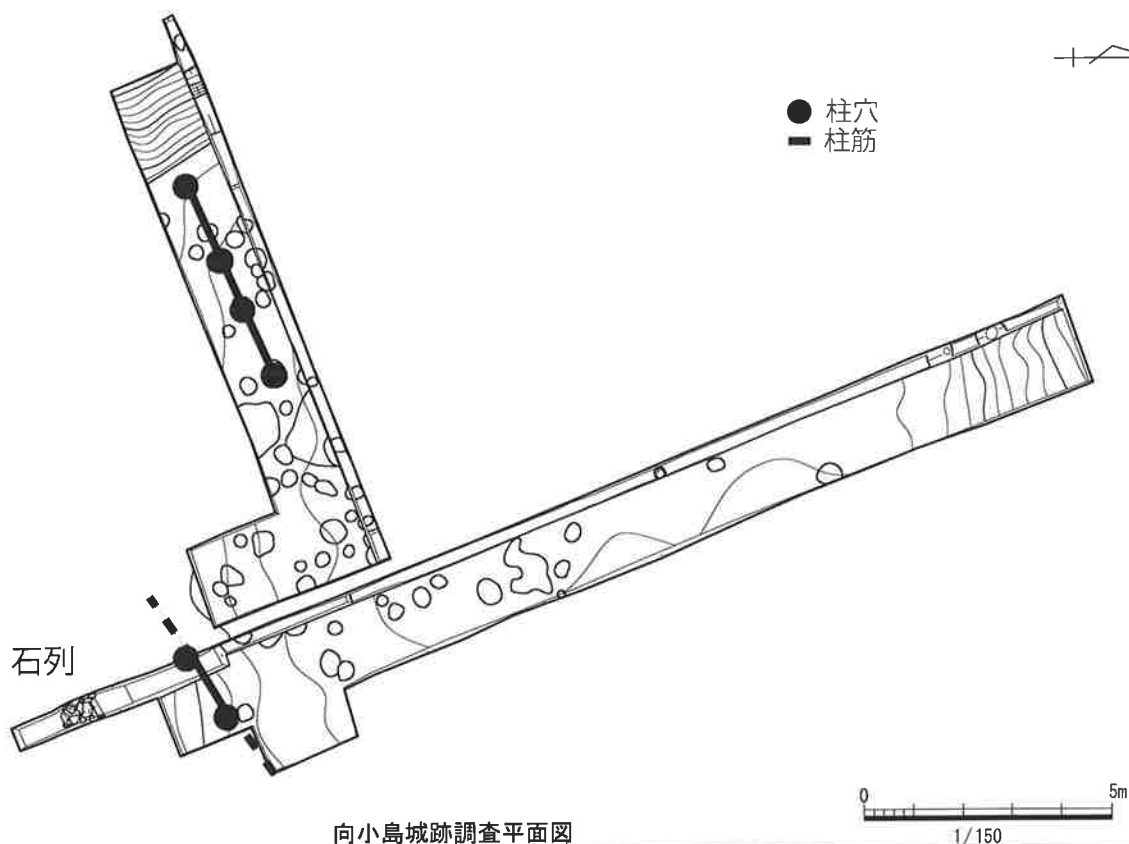


向小島城跡 現地説明会資料





向小島城跡調査概略図



向小島城跡調査平面図

向小島城跡における試掘確認調査の概要

主郭において発掘調査を実施し、柱穴と中世の陶磁器等を確認しました。

柱穴のうち柱筋が通り、柱穴列となるものがあります。これらは、掘立柱建物跡の一部になるものと考えられました。また、主郭の南端では、柱穴列と石材を並べ大規模に切岸を造成した痕跡が見つかりました。主郭の南側には尾根上に堀切が連続で見られることから、嚴重な警戒を払っていたものと想定されます。遺物は、天目茶碗、瀬戸美濃焼の皿などが見つかりました。

今回見つかった掘立柱建物などの遺構と天目茶碗などの遺物は、向小島城跡の使われ方や年代を考える上で貴重な発見と言えます。